

「生き方によって選びを示す」

I ペテロ 2:1-4, 民数記 11 章

■ 偽りをぬぐい去る真実

1970年代におきたオイルショックによって、日本ではトイレットペーパーの買い占めが起りました。「原油価格の高騰によりパルプが値上がりし材料がなくなる」というフェイクニュースが広まり、人々は不安と焦りからトイレットペーパーを買い占めます。しかし、日本の製紙業界がパルプの貯蔵量を伝え、「みんなが買い占めなければ、なくなることはありません」と真実を伝え続けたことで、買い占めは収まりました。

このように、偽りの情報は真実でしかぬぐうことが出来ません。創世記、サタンは私たちに「死」という偽りの情報を与えました。しかし、聖書は、その「死」という問題が、イエス・キリストの犠牲と復活という生き様によって、ぬぐい去られたことを私たちに伝えています。

■ みことばを慕い求める

この手紙の著書であるペテロは、各地に散らされ、苦難と試練のなかにあるユダヤ人に向けて、この手紙を送りました。そのなかで、『あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることのない、神のことばによるのです』（I ペテロ 1:23）と、私たちが新しく生まれ変わったことを伝えています。そして、生まれ変わった私たちが、お母さんの乳を求める赤子のように「みことばの乳を慕い求める（I ペテロ 2:2）」ことを勧めています。

では、慕い求めるとはどのような状態でしょうか？

【慕い求める】ヘブル語：アーヴァー

意味：むき出しの欲望、得るまで泣き叫ぶ様聖書で最初に「慕い求める」という言葉が使われたのは、民数記の 11 章です。エジプトを出て荒野を旅するイスラエルの民を、神様は雲の柱と火の柱をもって導かれました。しかし、イスラエルの民は、与えられている恵みに目を向けず、水と食糧の不足を訴えます。そこで、神様は「マナ」を与えられますが、イスラエルの民の心はさらに欲深くなっていきました。彼らの頭には、いつになったら安住できるのか、どこに定住できるのかという焦りがあり、安心することができずに、あれがない、これがないと大騒ぎをしていました。まさに赤子のように泣き叫んでいる状態であり、これが「慕い求める」姿です。これは、偽りの情報を聞いて焦り、トイレットペーパーやマスクを買い占める私たちの姿と同じです。イエス・キリストの十字架による死と復活によって新しくされた私たちは生き方を変える事で示すことが大切です。朽ちるものを慕い求めるのではなく、永遠に変わることのない神様のことばを慕い求めなければなりません。

■ 慕い求めるために

①【捨てる】ギリシャ語：アポティスタス

意味：脱ぎ捨てるさま

「ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、」（I ペテロ 2:1）とあるように、慕い求めるために、私たちはすべての悪意を捨てる必要があります。新しくなった私達は過去・古い自分に捕われる必要はありません。

相手にやり返そう、あの人より私のほうが幸せになってやる、相手に謝らせてやろう、あの子を騙そう…これらはすべて「悪意」です。悪意は、誰かをうらやましく思ったり、あのとときのほうがよかったな…と比べたりする「ねたみ」から生まれます。そして、自分が持っている悪意が相手にバレたとき、私たちは「偽善」によって悪意を「ごまかし」てしまいます。本来、私たちは悪意や偽善などを持つ必要がありません。

②何を慕い求めますか？ それは「純粋なみことばの乳」です。

③どのように？ 「生まれたばかりの乳飲み子のように」

④なぜ？ 「成長して、救いを得るため」

『生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。』（I ペテ 2:2）

■ 忙しさ・妬み

私たちに悪意や偽善をもたらすのが、忙しさと妬みです。日本には“忙しいことはよいこと”という価値観がありますが、「私は忙しい」と言って、頭が忙しくなっていると、イスラエルの民のように、欲望と焦りから、不足に目が向いていきます。

「忙しい」とはその環境や現状が忙しいのではありません。頭が忙しくなっている時、それは自分の弱点をつつかれている時なのです。神様はあなたに乗り越えられない試練は与えられません。あなたが出来ることを与えられています。ですからもう一度自分の「忙しさ」を見つめ直してみましょう。そこにつつかれているあなたの「弱さ」があるはず。サタンは、私たちの頭が忙しくなり、神様から離れるスイッチをよく知っています。そして、そこをつついてきます。まるでマイクの電源のように、そのスイッチをON/OFFしてきます。ですから、私たちは自分の弱点スイッチがどこにあるかを知り、その古い人を脱ぎ捨てる必要があります。脱ぎ捨てたふりや、教会にいるときだけ脱ぎ捨てて、教会を出るときにもう一度それを拾って着ないように気をつけなければいけません。あなたは新しく生まれたからです。古い人を脱ぎ捨てる為に自分の生活を整えていきましょう。

■ 定住：人々に捨てられた石、その上に人生を置く

イスラエルの民は定住できない焦りから、神様に文句を言っていました。そんな民を見て、モーセはリーダーを辞めさせてほしいと訴え、居場所を失いました。しかし、私たちは居場所を失ったときにチャンスです。本来、自分が定住するところがどこかがわかるからです。「主のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石です。」（I ペテロ 2:4）「家を建てる者たちの捨てた石、それが礎の石になった」（I ペテロ 2:7）忙しさから抜け出し、この土台の上に私たちの人生を置きましょう。

■ 自分の意識を変える

「過去を超えることも、他人の行動を変えることも、失全的な運命を変えることもできないが、私たちは最後に残った一つの手綱である自分の意識を変えることはできる」

これは、チャールズ・スウィンドル牧師の言葉です。聖書には、人を変えるのではなく、自分を変えることが書かれています。私たちがいくら外側をよく見せても、自分を変えることはできません。しかし、私たちが忙しさとねたみを捨てるとき、私たちの内側が変わっていきます。

さいごに

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました」（II コリント 5:17）

今、苦難があるかもしれません。そんなとき、神様の前に出て、みことばの乳を慕い求めてください。赤子のように泣きながら、神様の腕にとびこむとき、神様が私たちを癒し、慈しみと憐みで覆ってください。

そして、ただの漁師であったペテロが、神様によって造り変えられたように、私たちも神様によって造り変えられていることを信じましょう。新しく生まれた私たちは、生き方を示していくことができます。私たちが変わる奇蹟をとおして、私たちの周りの人が変わります。その奇蹟をともに味わいましょう。

（要約者：岡本 享子）

（2021年4月18日）